PCR等

検

査

の

模実施につい

7

「市民と野党の共闘を進める



8月22日(土)、「市民と野党の共闘を進める10 区の会」(略称「進める会」)が、岩見沢駅前で街頭 宣伝を行いました。

約30名の会員がマスクとフェイスガード姿で集ま り、「ただちにコロナ国会を開け」と訴えました。

おなじみのGブラザーズが、♪「いつでも誰でも何 度でも、日本を救う合言葉、PCR検査を受けましょ う、世田谷モデルを広げよう」♪の替え歌を披露し、 PCR検査の徹底をアピールしました。

「進める会」共同代表の木村衛さんは、「安倍首 相は、9条を改憲することよりも、早く臨時国会を開 き、コロナ対策の大綱案を早く国民に示すべき」と挨 拶しました。 高校生らしき集団が駅前広場ベンチに 座って、じつくり話や歌を聞いていました。

同会は、2015年、北海道5区の補欠衆議院選 挙から始まった、北海道での市民と野党の共闘をか
 ら生まれた市民団体です。

岩見沢新婦人の会の細野悦子さんが、マイクを 握り、「コロナ禍社会で国民の命と暮らし、人権と学 びを守ることのできる政治に変えていきましょう」と訴 え、約40分での街頭宣伝は終了しました。

者

など

症 無

状

ت ح

う

者性が

症

者 重

. 症

症 中

候 等

陽

の症

保

á

ع

が子介確

 \mathcal{O} す

必

要

な

患 ŧ

行の同分

者に

تلح 護

ŧ

慢 妊

性 産

患 障

や疾婦、

い

が者、

 λ

透 患

の析

入 険

れの

ŧ る \mathcal{O} 患

考

す \mathcal{O} 化

あ

者

な

تع

重 者

症

、陽 治性 療者 体の 制隔

離 つ 保

ラ 要 す

を

抜 を 応 本 検 市 Ξ 5 粋 し に を 強 査 党 L ま 緊 化 . 夕 月 北 そ 急に す て Ī を 張 11 し 医 海 の た。 療体 紹 防 道 市 日 時 . 行 ぐ 以 で 点 うよ た の員 下 制 日 で 入 \mathcal{O} ま の め \neg 会 本 う、

対抜の

第 で 8

い

る

示

証

者 査 を 対 士 を に 染 厚 用 が 福 者の される ず ゃ 幅 公 象 祉 医 の 接 検 療、 旧た場合 、 学 校 費 に \mathcal{O} 広 査 可 した く 行 を予 有 従 者 で 能 の 対 実 無 の 事 介 の 観 発 性 うこ 護、 で 検 定 施 に 教 者 行 \mathcal{O} 点 限 症 を す か 査 職 高 定 者 保 政 か ځ を 保障 検 か 員 ら い せ

の

よう、 で ば、 は 保 検 実 保 検 師 \mathcal{O} 配 感 実染 施 夕 張 施 を 査 の つ 査 す 感 ⇒ (現 \neq 体 が 実 い 検 所 し 所 対 施 医 受 疑 し 体の 制 市 て の 象 の を け す い て 合 師 を 内 い 相 在、 か 可 لح ま 現 の い 意 の 整 ら で る 談 含 か るこ る Ρ 場 人 が判え れ の め 医 わ な \mathcal{O} あ断る るC 上師る ら症を

後 確ず にに 検 立 する 討 検 す 査 保 する 健 所 体 を 制 通 さ

PCR検査 相談の目安 息苦しさや強いだるさ ●かぜ症状や 4日以上 ● 比較的軽いかぜの症状 4日以上続く場合 強いだるさや息苦しさ

(NHKホ ームページより)

報 民 自配 者 発 感 託 へ分 するととも 治 生 の 風 慮 の 報 染 床 状 公 心念され プラ 況、 の 施 者 占 検 ゃ 体 し 施 とで ツ つつ保 実 か 詳 設の 有 設 査 す IJ 細 など 居 機 施 1 率 \mathcal{O} 病 る ゃ 綿 バ を、 住 確 床 関 検 ゃ の シー の す 密 健 地 保 ゃ 査 ځ 性 間 関 < に 所 感 域 の 宿 可 染 連 情 住 共 とに と泊委 民能

> いて 設 医 療 機 ഗ 関 援 介 他

< 保 内 ること。 ŧ て 必 治 要 療 1) \neq る な 施 夕 制 を 張 市

ت ع 機に、 わ 収 様れ 入 に ことと を 患 けあ 設 設 で を の を 行 な ども の 者 ∃ 補 < لح は、 補 わ 医 の 抜 導 感 設 る 補 休 を れ積 ま ン 本 入 査 住 償 で し 検 医 て 医 $\stackrel{\Longrightarrow}{\sim}$ 業 る 置 て 発 に ん療 民 ょ 償 染 す 出 極 \mathcal{O} で 実 で 的 感 査 ŧ 施 市 う 者 る 体 要 し よ的 診 \mathcal{O} ゃ プ 熱 対 が に す う、 パレ のに 確 で 請 た な 療 か 中 動 外 立 拡 す す を 事 を かだ 線 来 診 充 る 実 減 検 ٦ \mathcal{O} 収 行 業 陽 IJ ブ の 療 لح 査 が 確 す 補 テ 減

★日本共産党 夕張市委員会へのご連絡・ご相談はお気軽にどうぞ~ Tel/Fax : 0123-52-3097 e-mail:jcp.yubari@gmail.com

ン施施所

る助備

保

建

交労

焼 記

がの

香 長 読 が

行

わ

れ

ま

L

義

則

員 夕

長をは、長をは、

い続じ野

と

ī

無

手の

を関

建 交労夕張支 8 日

方を過

去

しあらた

まし

れ碑 た 事 末 務 ま \mathcal{O} 広 所 要 が 地 地 0) 執 で 日 隣 建 ŋ 交労 行無わ名 接 暑 き L

> 3 記 名

5 名 \mathcal{O}

9

名が合

合わ

祀せ帳

ーそ れ T に 5

氏名紹介順程のなか安部の氏名紹介順のなか安部のなか安部の歴史 さ 骨 よ所 員 さ こ の れ ŧ り かの 納 れ て \mathcal{O} 5 他 骨 ま 碑 11 無 堂 L ます。 た。 V) 依 12 方

引き受け納 夕張市 頼で身でまれる。 \mathcal{O} 骨 遺

*

1

とた仲社な市 動 会分 民 を の野 活 始 発展の為に 動 \Diamond かなど様 平和運動には労働に 動運 Þ

侶 祭 前

の壇

経 用 る を

と刻

白

背

負

V

と 出れ持者 る ち、 だけ を た 対 話 仲 策 間 故の \mathcal{O} との思 人とな 11 6

建 人間 前 立 々を讃えよう لح 共に で さ お参り 過ごし ました。 連 岩 里 逆射し 里 教 な 火はこれにとどまらず、 会での放火銃殺です。

合 \mathcal{O} り 後 碑 コ 口 た鈴木春の中心的存は組 集まりをのため関係 ナのれ

議 <

勇 桂 を 組

夕 市

役張

11 \Diamond

て

ま

11 香 て 委

子夕張

にも及び、

十五村落、三一七戸が

暴

動

人

(官憲統計) とあり

É

かし実際は、これに収まら

な 九

焼き尽くされ、死者三十にかかわったとして他の

村

いといわれてい

ま

連

議

張 治

所 労 市

> 明 治 新 55 朝 鮮 民地 支配

国に帰って伝えます。 に歩兵大隊を増 に広がっていきま で「断固たる措置」「高圧的なる臨機 がまっ をも って た総督 群衆は、この 弾圧 します。 派 と憲兵警察は、 た。 計2個師 独立の熱望 日の光景を L 目 - 本政 カュ 府 団 胸に全 [の軍 らたも は は 玉 **4**月 葬 0 気 隊

くずさんの

繰り

返します。

を

でも悲惨極 まる事件 提ェ 岩ェ 里 は 4 の虐殺 月 15 日 京幾道 水 原 \mathcal{O} 提

カュ

し・・・」と書いています。 せしため」と称し、これに石油をかけ、 教会に基督、 安城に派遣された歩兵中尉以下十二名 敬首 「殆ど全部を射 相あての長谷川 天道両教徒約二十五名を集め、 好 火を放ち・・・二十八戸を焼 * 2 道 朝鮮 総督 逃げ惑う民衆を狙 の報 に は 四 告書は、(「」内) 月十五 教徒ら 月 反 提 失

払 浴 び な せ のように、ほ がら 焼き尽く、 ぼ空手空 族 き尽くすのです。 0) 独 立 一拳の 運 動 民 衆に は 約 3 こうして大きな犠 情 カ け 月 容 間 . 赦 の た た な カュ わ 銃 火を 牲 れ ま を

か二十九名とか説がありますが、人数の違い での朝鮮民衆弾圧 提岩里事件で殺された人数には、このほか三十二名と よりも無差別に殺害した事実が、問題なのです。 軍司令官宇都宮太郎と陸軍大臣 をめぐる電報でのやり 田 中義 _ と の

本共産党を大きくするために

ると

<

 \mathcal{O}

<u>ニ</u>さ 在

で

いった鈴

岩渕 友「国会かけある記

共 闘 の 日 本 共 産 党を大きく

会を開 くてはなりません。 新型コロ したが、 復を願うも 安 ロナウイ て首相 持 病が再発したとのことであ が 辞 のです。 ルス !を決 意を め、 表明 同 0) 最大の課題を しました。 対 水応につ 突然で となって て ŧ 早く ŋ, 審 議 臨 を 体 L い時 調 き なる国 \mathcal{O}

倍政権のこ く広がっています。 島切り捨てが進め きました。 嘘とごまかしの政 を許さないという運 安倍政 「アンダー もとで原発 権のもとで、 印象深 5 コン 11 れてきまし 事故を終 動 \mathcal{O} は、 \vdash 憲法を 玉 民 口 原] 東 \mathcal{O} わったことに 発 ル 京 壊 声 た。 とし ゼ 電 す を 口 力 政 聞 L 福 治 カン 0) カュ た がな 島 声 発 第 行い にする が わ政 原れ治 そ 大 福 安 発

え 東書の改 え書の改 などの が同 にさせるわけに !に従ってきた人たちです。 っているの いうことば 辞 意表明直 改ざんで国家公務員が亡くなっ 意見が出 一を求める世 問題をこれ う意見も出て 直後の か りが はい ました。 民と野 安倍政 0 話題に い政治をつくるチャンスです。 からも追 تح きません。「次の 論を大きくする必 11 権を支え、 辞任表明で全てを終 1 で 、ます。 いなるが、 は、 自 共闘を広 求 いして 民 党政 候補 誰が 結 ほ • 局 首 要 たこと 加 L こその は が 名 や相 計 0 安 前 あ は 7 ŧ 倍 誰 わ は 桜 が る あ ŋ 重